

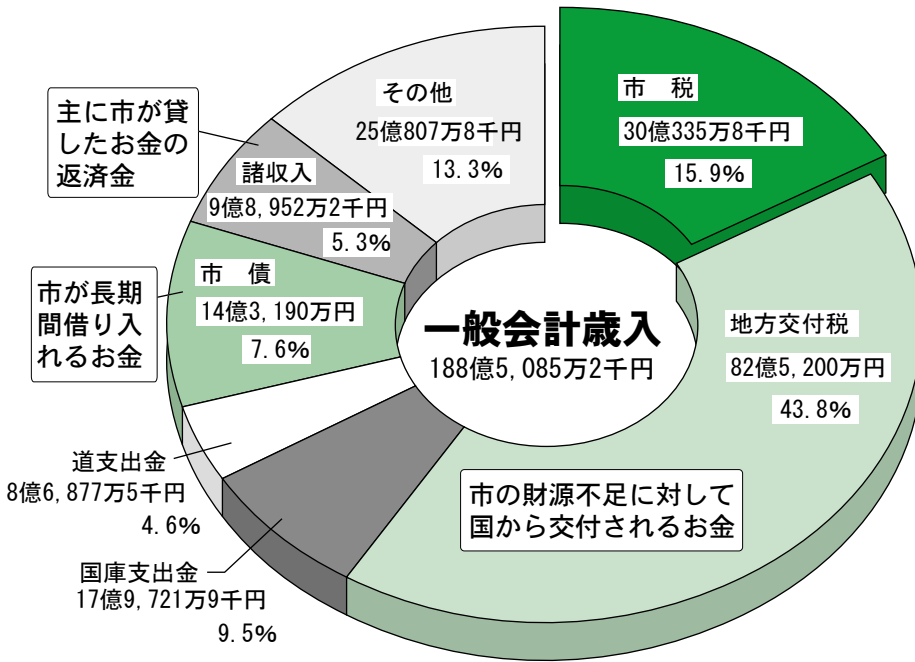
# 平成25年度予算



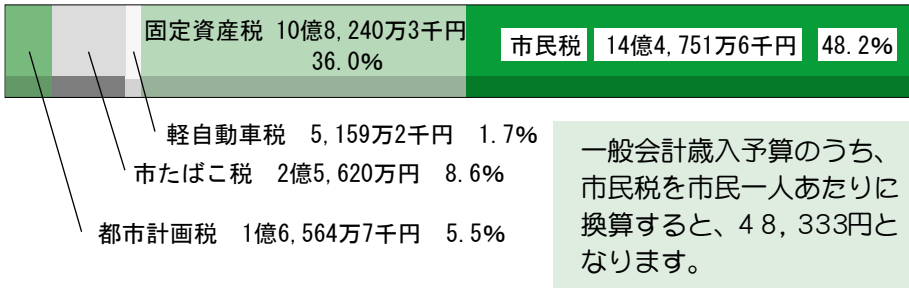
## 総合計画後期計画を具現化

## 多くの財産や交流都市との絆を活用

一般会計予算総額 188億5085万2千円



### 市税の内訳



一般会計歳入予算のうち、市民税を市民一人あたりに換算すると、48,333円となります。

### 各会計予算総括表

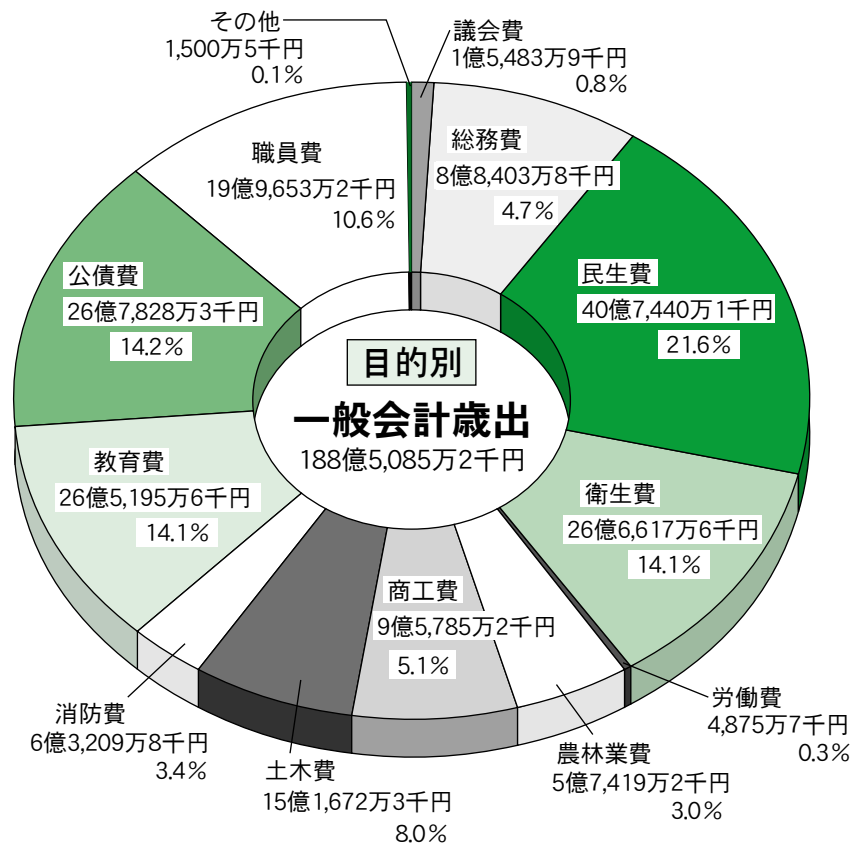
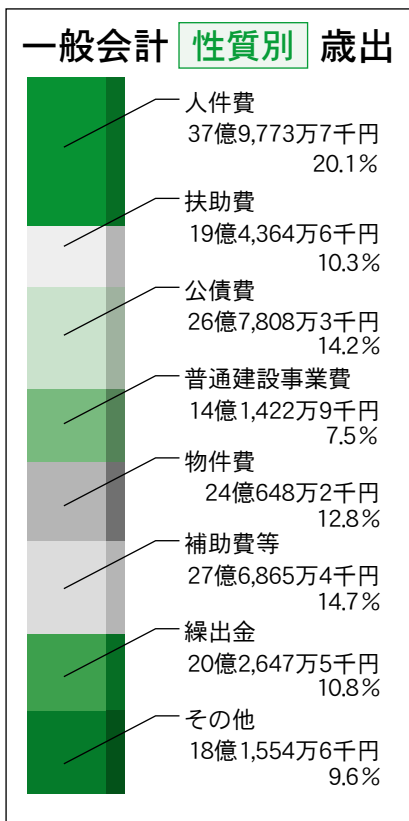
区分	予算額	
一般会計	188億5,085万2千円	
特別会計	国民健康保険【保険事業】	33億2,766万5千円
	国民健康保険【直診】	1億7,762万5千円
	介護保険【保険事業】	22億5,627万円
	介護保険【サービス事業・名寄】	2億5,974万6千円
	介護保険【サービス事業・風連】	8,012万5千円
	下水道事業	11億6,593万5千円
	個別排水処理施設整備事業	9,214万2千円
	簡易水道事業	1億1,161万8千円
	公設地方卸売市場	4,099万8千円
	食肉センター事業	2億549万6千円
後期高齢者医療特別会計	3億3,669万7千円	
小計	80億5,431万7千円	
一般会計+特別会計	269億516万9千円	
企業会計	病院事業会計	123億3,796万5千円
	水道事業会計	12億2,636万2千円
総計	404億6,949万6千円	

平成25年度予算は、市立大学や市立天文台きたすばる、道立サンピラーパークなど本市にある多くの財産と、合併以前から交流を続けている都市との太い絆を活用し、まちづくりを進めること、そして市民の皆さまの生活に直結する公的なサービスをしっかりと提供できること、そのうえで、新名寄市総合計画後期計画を着実に実施することを目標に予算を編成しました。

食、移住・定住、観光などの連携に取り組み、この地域の振興につながっていく事業が盛り込まれています。まちづくりの主役である市民の皆さまと連携・協力する「協働のまちづくり」を進め、明るく元気な名寄市をめざして取り組んでいきます。

新年度予算の概要と主な事業をお知らせします。

## ■平成25年度の予算と主な事業



### 一般会計とは

市の財政は一般会計、特別会計、企業会計からなっており、土木費や教育費など行政運営の基本となる会計のことをいいます。

### 特別会計とは

特定の事業やサービスを提供するために、利用者からの保険料や使用料などを財源として事業を運営するために設けられた会計のことをいいます。

### 企業会計とは

自ら事業を行い、その事業で得た財源で運営する、民間企業と同様の経理をする会計のことをいいます。

## 市民一人当たりの歳出額（一般会計目的別歳出）

一般会計歳出予算を市民一人あたりに換算すると、62万9,432円（平成25年1月末現在の住民基本台帳人口2万9,949人による）

主なものは次のとおり。

公債費 89,428円



公債費とは、市の借入金返済のために使われるお金で、一般会計歳出予算全体の14.2%を占めています。



農林業費 19,172円



教育費 88,549円



民生費 136,045円



商工費 31,982円



土木費 50,644円



衛生費 89,024円